

# 甲賀市防災訓練

11月28日に甲南グラウンドを主会場に甲賀市防災訓練を実施し、市民、防災関係機関等の相互連携の強化に取り組み、その役割を確認しました。

この日は、午前8時に葛木断層を震源とするマグニチュード6.7の大規模地震が発生したという想定で行われ、地元葛木区、ニューポリス区の住民の方をはじめ、防災関係機関を含む17団体約520人が訓練に参加されました。今年度は福祉避難所への移送訓練や、災害ボランティアセンター設置運用訓練、医師・看護師の派遣による負傷者救護訓練等、新たな訓練にも取り組み、防災意識や防災力の向上を図りました。多くの関係者の皆さん、ご協力ありがとうございました。



土砂災害からの救出訓練

◆参加団体（順不同）

- ・甲南町ニューポリス区
- ・甲南町葛木区
- ・甲南町赤十字奉仕団
- ・社団法人滋賀県エルピガス協会甲賀支部
- ・社団法人滋賀県建設業協会甲賀支部
- ・甲賀市管工協同組合
- ・滋賀県電気工事工業組合水口支部
- ・滋賀県石油商業組合甲賀支部
- ・NPO法人甲賀ユートピアネットワーク
- ・医療法人仁生会甲南病院
- ・社会福祉法人甲南会特別養護老人ホームせせらぎ苑
- ・社会福祉法人やまなみ会やまなみ工房
- ・社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会
- ・甲賀市消防団
- ・甲賀警察署
- ・甲賀広域行政組合消防本部
- ・甲賀市

今から16年前の平成7年1月17日、阪神・淡路大震災によって多くの犠牲者や負傷者が出ました。地震の備えはできていますか。16年前に立ち返って、もう一度地震対策について、各家庭で考えてみましょう。

## 家庭でできる防災訓練

**●ライフライン不使用訓練**  
 私たちは普段、電気・ガス・水道などを当たり前のように使っています。しかし、大きな地震が発生すると、これらのライフラインはストップしてしまいます。地震の難を逃れ助かって、しばらくは電気や水道を使えないまま生活しなくてはなりません。この寒い時期だからこそ、電気・ガス・水道を一切使用しない生活を半日でも体験してみてください。震災後も不自由なく過ごすために何をしておく必要があるのか、見えてくるかもしれません。

**●災害用伝言ダイヤル171**  
 災害発生時には、回線が混み合い固定電話・携帯電話ともに通じにくくなります。災害用伝言ダイヤル171は、被災地の人が録音した安

## 地震の備えはできていますか

否などに関する情報をほかの地域の人から聞いたたり、ほかの地域の人から被災地の人へメッセージを送ったりすることが出来ます。離れて暮らしている家族がいたり、地元を離れる機会が多い方は、使用方法をお互いに知っておけば災害時の安否確認にきつと役立ちます。

本来、災害発生時にしか開設されませんが、防災とボランティア週間（1月15日午前9時～21日午後5時）は体験利用できます。まず、受話器を取って①②③、後は音声ガイダンスに従って操作します。ぜひ一度お試しください。

## 家庭でできる地震対策

**●倒れないが大事**  
 阪神・淡路大震災では、建物や家具の倒壊によって、多くの死傷者が出ました。家具は私たちにとっては、大切な財産ですが、大きな地震が起こると凶器となります。地震が起こった時に、買ったばかりの薄型テレビが転倒しないように支えていたという声もチラホラ…。しかしこの行為は自らの身を守れていないので大変危険です。安心して自分の身を



初期消火訓練

守れるように、転倒防止策を施しましょう。

- ・L字金具固定
- ・つつかえ棒固定
- ・転倒防止耐震シート など

**●非常用品の備蓄**  
 阪神・淡路大震災の被災者の声の中で、水は常に備蓄しておいた方がいいという意見が多くありました。一人当たり2リットルを3日分備蓄しておきましょう。

また、懐中電灯もあってよかったとの声が多数あります。携帯電話のライトは比較的明るく、代用することもできますので、点灯方法を確認しておきましょう。

高齢者世帯、赤ちゃんのいる世帯、持病のある方等、各家庭によって常時必要な物は異なります。これらの特殊事情は、救済物資等では解消されないことがありますので、普段から備蓄しておくことが重要です。



災害対策本部長として指揮をとる中嶋市長



事故車両からの救助訓練



避難訓練



吹き出し訓練



水防訓練



建物救助訓練



火災防御訓練



災害ボランティアセンター設置運用訓練



給水訓練



負傷者救護訓練



応急処置講習

宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。  
**ふるさと消防団活性化助成事業 AEDトレーナーを購入**

訓練では、財団法人自治総合センターから宝くじの普及広報事業の助成を受け購入したAEDトレーナー等の資機材を利用して、心肺蘇生法やAEDの取り扱い方法についての講習会を行いました。この資機材は、今後も市内で有効に活用していきます。

問い合わせ 危機管理課 総合防災係 ☎65-0665 ☎63-4619